

空知地区 学校経営研究会

今年度は、『学校経営研究会』を単独で行わず、内容により2回に分けて実施し以下の通りとした。

『教育情勢の説明』部分として、10月12日（木）の第3回空知校長会理事研修会で、道小・道中からの活動と運営の説明を行う。その際、道小・道中の担当者にご参加いただき、あらかじめ道小・道中に空知校長会から上げている質問事項の回答もいただく。

『事例研修』部分として、12月16日（土）日本教育会全道研究大会（web教育講演会）を、学校経営研究会における研修の位置づけとして全会員で参加する。

<空知校長会第3回理事研修会>

1 目的

- （1）道小・道中校長会の活動や運営について理解を深め、意見交換を通じて組織の充実強化を図る。
- （2）学校経営に関する質問や意見を集約し、道小・道中校長会との意見交換を通じてその解明を図る。

2 主催 空知校長会

3 日時 令和5年10月12日（木）

4 会場 オンライン（zoom）

ホスト配信会場：岩見沢市立岩見沢小学校

5 参加者 空知管内小中学校長地区理事他（33名）

- | | | |
|------|---------------|---------------------|
| 6 日程 | 13時30分～14時45分 | 理事会：独自調査項目考察報告 |
| | 15時00分～15時35分 | 全体会：教育情勢報告 |
| | 15時35分～15時50分 | 全体会：要望事項等に対する回答及び協議 |

7 開会 空知校長会会長 松本 伸彦 の挨拶で開会

8 報告

（1）教育情勢報告

① 空知の教育情勢報告

空知校長会対策部が「学校における働き方改革に関する調査の実施と課題の把握」「当面の課題に対する対策と解明」（「小学校高学年における教科担任制の進捗状況」「中学校教員の小学校に対する乗り入れ状況」）について、独自調査を実施し、空知の現状と課題について説明した。

ア 働き方改革アンケートについて

発表者：空知校長会経営・対策部長 角銅 隆

空知校長会アクションプランを包括的にとらえ総括した。経年変化により、ICTの活用による業務負担軽減の推進が見られた。地域連携の停滞が見られたが、コロナ禍による一時的な結果であると考察した。今年度は3か年計画最終年度となるため「今後どのような取組を継続していくかを整理する必要がある」と結論づけた。

イ 小学校教科担任制アンケートについて

発表者：空知校長会経営・対策部 担当地区理事 江幡 佳代

約95パーセントと、ほぼすべての小学校が何らかの教科担任制を取り入れていることがわかった。優先教科が算数・理科・英語・体育とされている中、理科・英語の教科担任はある程度浸透しているものの、算数・体育に課題があることが分かった。更なる推進のためには、「管理職のマネジメント力により様々な工夫を凝らす必要がある」と結論づけた。

ウ 中学校乗り入れアンケートについて

発表者：空知校長会経営・対策部 担当地区理事 高杉 直人

昨年度の学校経営研究会で、小中一貫教育の先行事例が発表され、取組の一般化が見られ、調

査結果より、組織的・計画的な乗り入れ授業を行っている学校が100パーセントであることが分かった。一方で、中学校に負担が偏るとの意見が多数を占め、教員の負担感や小中学校の物理的距離感等、課題も捉えることが出来た。「小中連携・一貫教育に対する理解を深め、子どものために出来る範囲で行っていくことが望まれる」と結論づけた。

② 道小・道中の機構説明、全道の教育情勢

北海道小学校長会 事務局長 末原 恵蔵 氏（リモート参加）

ア 道小、道中の活動について

イ 全道研、全国研の参加や機関誌等の紹介

ウ 「教育情勢（8月16日～9月19日）を基にした説明

(2) 学校経営上、法制上の諸問題の質問、要望事項に対する回答及び協議

北海道小学校長会 経営部幹事 工藤 雅人 氏（リモート参加）

北海道中学校長会 対策部幹事 小泉 寧 氏

① 小学校高学年教科担任制の現状と課題について

② 小中連携・一貫教育における乗り入れの状況と先進的取組について

③ 中学校部活動地域移行の現状と先進事例について

9 閉 会 空知校長会副会長 疋田 博和 の挨拶で閉会

<全道巡回研究大会空知大会（オンライン）>

1 目 的

(1) 教育制度、関係諸法規の情報収集と情報の提供、資料化を推進するとともに、学校経営や学校運営上の諸問題に関する法規研究を行い、その解決に資する。

2 主 催 日本教育会北海道支部

3 後 援 空知校長会・空知教頭会 他

4 日 時 令和5年12月16日（土）

5 会 場 オンライン（zoom）

ホスト配信会場：北海道小学校長会事務所

6 内 容 講演（経営研究会研修部分）

7 講 師 愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口 健司 氏

8 紹 介 1970年生まれ。日本の教育学者。鳴門教育大学学校教育学部初等教育教員養成課程卒業。九州大学大学院人間・環境学研究科教育学専修博士後期課程修了。

近年の著書は、露口健司・藤原文雄共著『子供の学力とウェルビーイングを高める教育長のリーダーシップ』（学事出版、2021年）、露口健司編著『ソーシャル・キャピタルで説く教育問題』（ジダイ社、2019年）等。現在、日本学校改善学会会長を務める。

9 演 題 『子供と教職員のウェルビーイングを高めるリーダーシップ実践』

10 対 象 空知管内教育関係者（学校教職員・行政関係者・地域保護者等）、空知管外参加希望者

11 参加者 233名

（空知校長会92名、空知教頭会及び主幹教諭95名、管外教諭等46名）

12 日 程 14時00分 開始

16時00分 終了

『学校経営研究会』は、道小・道中の地区別教育研究会を兼ねて毎年実施されてきた。今年度は、全道巡回研究会の担当地区であったことから、研修を巡回研究会で行い、道小・道中の活動及び教育情勢報告を理事研修会で行った。

次年度は、空知担当となる4ブロック研修会と時期を調整し、オンラインにより『学校経営研究会』を開催する予定である。